

令和6年度

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

学力向上検討委員会構成

北井上中学校
「学力向上実行プラン」

- 主体的・対話的に学習に取り組む意欲を育てる指導の充実
- 効果的なICTの活用を通じた授業の充実

学力向上推進員 榎並 理子
委員 校長:嶋田 聡 教頭:土壁直樹
教務主任:榎並理子 1学年主任:井藤広章
2学年主任吉住隆文 3学年主任:斎藤雅紀

校長 嶋田 聡

【小中連携または中高連携における共通の取組】

【各校における実行プランの取組状況の把握について】

「主体的・対話的で深い学び」を育む授業づくりー効果的なICTの活用を通してー

校内や小中連携による授業参観や研究授業の実施など、様々な機会を捉え、取組み状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○各教科の基礎的・基本的な知識・技能を身につける課題に意欲的に取り組んでいる生徒が多い。 ●複数の基礎的な知識や内容に関連させた文章を正確に読み取ったり、関連づけたりすることに課題がある。	・授業の振り返りや家庭学習による復習を通して基礎的・基本的な知識・技能を身につけることができる。 ・習得した知識・技能を他の学習や課題でも関連づけたり、まとめたりすることができる。	・各教科でタブレットのドリルや小テストで反復学習を行う。 ・朝の読書で、小説だけでなく、新聞を読んで様々な情報を収集し、他教科や総合的な学習の時間で課題をまとめる活動を取り入れる。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○学習課題について、相手に伝わるように工夫して自分の考えをまとめて発表することができる。 ●根拠を明らかにして、筋道を立てて自分の考えを表現することに課題がある。	・身につけた基礎的な学習内容を生かして、「なぜ」「～だから」という根拠を示しながら自分の考えを表現することができる。	・学習活動全体の中で、自分の考えを表現する機会を設け、その際、ICT機器を利用した学習活動を計画する。 ・「国語力向上タスクフォースによる提案から」にある授業の工夫、発問の工夫を各教科で取り入れる。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○学習した内容についてテスト前に復習を中心にまじめに取り組むことができる。 ●自らの課題を見つけ、それについて予習をしたり、目標に向かって主体的・計画的に学習したりすることに課題がある。	・自分の学習課題に目標をもって、ICT機器を効果的に使いながら、粘り強く取り組むことができる。 ・自分の学習の状況を振り返り、学習の方法や時間を工夫して、家庭学習に取り組むことができる。	・単元ごとに目標が達成できたかどうか振り返らせ、学習の見直しを持たせる。 ・テスト前だけでなく、日頃から生徒の実態に応じた効果的な学習の方法や内容を、学習活動全体で指導する。			

令和6年度 学力向上ロードマップ

